

## ソビエト教育視察の旅の概要

視察旅行実行委事務局長 森下一期

初めての海外の教育視察にとり組むこととなり、昨年の総会での決定に従って準備は進めてきたものの、どのような旅行になるか、何が得られるか、と多くの不安をかかえてきました。実行委員会を組織しても、そのほとんどが日本から出た者がいないのですから、何の見通しも持ち得なかったわけです。

旅の過程を経て、やっと、ソビエトへの教育視察には、何を気をつけて準備すれば良いか、がおぼろげにわかってきた、といったところです。その前は、今回の旅行をお世話願った、日ソツアーリストの方、当初から相談に乗ってもらった村山士郎氏の説明を聞いても、他の国のことですから、はっきりとしたイメージを持つことができませんでした。それでも、多くの助言にもとずき、国民教育研究所

の伊ヶ崎先生から依頼状を出していただくとか、充実した内容となるよう、一定の努力を重ねてきました。その甲斐あってか、ソビエトの場合、行って見なければどこに泊るか、どこを見学するかわからないのが普通なのに、日ソツアーリストに、初めて、こちらの要望を受諾したという返事が来たとのことでした。

それでも、何時に出発して、どこをどのくらい見学できるのか、といったことは全くわからず、各都市に着いてからソ日協会、インツアーリスト(国営の全ての旅行をうけ入れている所)と連絡して始めてわかるというだけです。中には、見学に行ってから、何を教えている所かわかったところもあり、私たちの希望と食い違うところも少なからずありました。

そこを添乗員の方が、私たちの希望をもとに交渉をして下さり、見学場所が追加されたり、日程の変更も可能となりました。ただ、一定の手続きの必要なところは、事情にうとい子どもが出した手紙で要領を得なかった部分など、残念ながら、実現しなかったものもあり、依頼のむづかしさも感じさせられました。

このような準備過程、現地での努力により、別表のように、非常にたて込んだ旅行になりました。食欲に見まわろうという気持ちでのぞんだのですが、少々バテ気味になったのも事実です。



保育・幼稚園(ヤースリサート)で(3才児)

実行委員会の準備として、参加者の確保がもう一つ大きな仕事としてありました。各支部への呼びかけ、個別の説得等、いろいろ手をつくしましたが、手労研としては、10名(須藤、森下、宮津、長谷川夫妻、山中、田所、日浦、倉賀野親娘)の参加に終り、少々残念に思います。しかし、ぜひ参加したいという強い希望を持ちながら、時期的な問題、職場、家庭の問題、身体上の問題からやむを得ずあきらめた方も数多くいます。その方々をはじめ、会に、得たものを還元していくことは参加者のつとめと思っています。

一時期、旅行団の編成があやぶまれた時も

ありましたが、技教研関係19名の計29名で、添乗員も当初の計画通り2名で行うことができ、弾力性のある旅行にすることができました。

それにしても、事情にうとく、語学にも弱い者たちの旅にとっては、ソビエトへは100回以上という児童文学者の田中かな子さん、何年か住んでおられた東海大ロシア語講師の新井絢子さんというベテランの添乗員の方を得たことによって始めて充実した旅になったと思います。現地で通して通訳にあたってくれたオレグさんを含めて深く感謝をしたいと思っています。

ソビエトの遊び・労働・技術の教育視察の旅、実施日程

日付	午 前	午 後	夜
3/26 (水)	8:30 箱崎シティターミナル集合。	11:40 予定通り成田空港出発。太陽を追っかけて10時間。時差6時間	16:30 モスクワ着 コスモスホテルで 5回目の食事。
3/27 (水)	8:00 朝食、8:30 バスで出発 10:00~12:00 職業技術学校 (テラー)見学	昼食のためホテルに戻る 14:00から赤の広場など市内 観光。夕食のためホテルへ	民族舞踊の観劇、 ホテルにもどったら 22:30

3/28 (金)	国民経済達成博覧会—職業技術教育館、教育館見学。熱心な説明を受ける。	14:00～16:30 17:00～19:00 21:30 ソ日協会・技術教育関係専門家と懇談。 ピオネール 宮殿見学 夜行列車・出発	
3/29 (土)	9:00 キエフ着ドニエプルホテルで朝食後11:15～14:00 市内観光。無名戦士の墓等。	15:00～18:00 市内観光 キエフの歴史は古く、街もおちついている。	予定組まれず。
3/30 (日)	10:30～12:30 ピオネール宮殿見学。催物をやっており施設も食欲に見学。	ソフィヤ寺院を見学し、空港に向う。2時間でレニングラードへ。	ブリヴァルティ—スカヤホテルで21時の食事。
3/31 (月)	市内観光。冬の宮殿その他、壮麗なレニングラードの街を見る。	14:00～15:30 ソ日協会・保母養成の専門家と懇談。日程の調整もはかる。	キーロフ劇場でバレエオペラ、“プーシキン”を観る。
4/1 (火)	エルミターージュ美術館見学。ダ・ビンチ、ラファエロの作品も間近に見る。	自由行動。百貨店、本の家、教育専門書店などへ散らばる。	各自くつろぐ
4/2 (水)	10:00～12:00 *保育幼稚園見学。子どもたちの民舞に迎えられ、感激。	プーシキン市へ、夏の宮殿を見学。大戦で破壊され、今もなお修復中。	コーカサス地方の民族舞踊観劇、剣の舞も観る。
4/3 (木)	10:00～13:00 十年制学校見学。1、2、3、8年生の労働教育の授業参観。	ペトロパヴロフスク要塞見学。政治犯の牢獄の各部屋に革命家の写真が。	レストラン・サトコで食事をし、夜行列車で出発。
4/4 (金)	車内で食事をして、10:00～12:00 教育生産コンビナート見学。	14:00～17:00 青年技術者センター見学。工場が設置した8～18才の青少年が学ぶ場	ソビエト最後の夜。衛兵の交代を見に行く人も。
4/5 (土)	クレムリン宮殿、科学技術博物館見学、子どもの百貨店、教育書あり、等々	お別れ昼食会を2時間かけて。昼間から飲み物、食べ物が多過ぎたよう。	荷物の重量制限も無事通過。20:00時モスクワを発つ。
4/6 (日)	行きとは逆に夜が短く、トロトロしているうちに夜明けとなる。	12:00 横風を受けて、ちょっと緊張したが、無事成田着。解散したが、新幹線が大変だったとあとで聞く。	

\* 人数制限のため11名参加。他は、職業技術教関係の施設見学が実現せず、博物館等を見学する。